

現在の図書館サービスについて

【ご意見・ご要望】（投稿日：2021年3月12日）

現在、京都大学で最も規模の大きいと思われる附属図書館が、平日は17:00で閉館となり、土日祝日は終日閉館となっています。また学習室24時の開館時間も附属図書館と同じような状態になっていると認識しています。2,3月は例年は20:00ほどまで開館していた記憶です。個人的には新型コロナウイルスに乗じた図書館サービスの怠慢と言いたくならないほど不便に思っているのですが、20:00まで開館することより、17:00に閉館することの方が好ましい科学的根拠を是非ともお教えてください。

また、現在よりも新規感染者数をはるかに多かった1月は、テスト週間の1週間ほど前から、平日は21:00まで、土日は19:00まで開館していたことと、現在の図書館サービスの不便な状況との整合性を自分は見つけることができないので、どのような基準で現在の開館時間に設定しているのかについてもお教えてください。従来は学習室24時が、その名のように24時間利用可能であり、学生に学習や研究のための良好な環境を大学が24時間提供するというこれまでの姿勢が失われてしまった理由を単純に知りたいと思っております。もし大学側に、試験が近い時期以外はそのような環境を提供する体力が財政面の理由で失われてしまっているのなら、そのようにお答えいただければ諦めがつきます。

図書館の開館時間に関しては、決して図書館の職員だけで決めている訳はなく、感染症拡大時のガイドラインや運営の予算などの事情を鑑みて判断していると思われるので、学生意見箱に問い合わせた限りでございます。ご回答よろしく申し上げます。

【回答】（回答日：2021年3月25日）

（回答部署：附属図書館利用支援課）

ご意見、ありがとうございます。

2月28日に京都、大阪、兵庫の緊急事態宣言が解除され、本学の活動制限レベルが「1」になったことから、附属図書館は、授業開始の4月8日から開館時間を以下のとおり拡大することとしました。

平日 9:00-19:00 土・日・祝日 10:00-19:00

詳細は、図書館機構ウェブサイトのお知らせをご覧ください。

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1389088>

学習室24は、学生の自学自習支援を目的とした取り組みです。その深夜開室は、利用者に安全に、また安心してご利用いただくためにも、警備や清掃、消毒の体制を整える必要があり、慎重に検討を行わなければなりません。一日も早い深夜開室を目指して、新型コロナウイルスの状況の推移を見つつ、調整を進めます。

附属図書館の開館時間は、大学の活動制限レベルや対面授業・対面試験の実施状況などを

考慮して判断しています。

ご指摘のあった試験期の開館時間については、学生の皆さんの学習機会を確保するため、緊急事態宣言の発令中でしたが、開館時間の変更と土日の開館を行ったものです。また、これには、開館時間を拡大することで利用者の集中を緩和し、リスクを軽減する目的もありました。

利用者およびその関係者のみなさまの安全と健康を守ることを最優先とし、安全性と利便性のバランスを見極めながら、検討を進めていますので、どうぞご理解をお願いいたします。